

三重県環境審議会第1回水質部会 議事概要

令和3年6月4日（金）

14時から16時まで

1 開会

2 部会長の選出

部会長：千葉委員

部会長代理：松田委員

3 議題等

(1) 第9次総量削減に係る総量削減計画及び総量規制基準の検討について

[主な質疑応答]

・伊勢湾の現状について、「きれい」になれば「豊か」になっていくということではない点に注意が必要。伊勢湾の「豊かさ」に関しては、相当危機的な状況であると思われ、議論したほうが良いのではないだろうか。

→伊勢湾の豊かさについては、漁獲量の減少からみても危機的な状況にあり、今後「豊かさ」について、重点的に取り組む必要があると考えています。

・漁獲量の減少と水質（きれいさ）にはどのような関係があるのでしょうか。

→窒素、りん等の栄養塩類は、生態系に対する必要条件という認識が適切であると考えられる。栄養塩類が少なければ、生物生産は低下するが、栄養塩を増やしたからといって、以前のように漁獲量が増えるというのではなく、藻場・干潟等の生息場がないと生物生産にはつながらないと考えられる。

・「きれいさ」と「豊かさ」のバランスは、地域によって優先順位が異なり、類型指定の区分も違う。計画策定を進めるうえで、空間的な視点や時間的（短期・中期・長期的）な視点を取り入れて整理してはどうか。

→伊勢湾の現状や取組について、今後時空間的な視点からの整理を検討します。

- ・三重県の環境基本計画の中でも、伊勢湾の再生にかかわる、関係部局の横の連携は重要であると記述されているので、今後も意識して取り組まれてはどうか。

→サステナビリティレポートの中でも計画策定の取り組みについて話題提供していく予定です。他にも、県の3部連携会議や、伊勢湾連携研究事業等についてもPRしながら進めていきたいと考えています。関係部局の取り組みについては、次回以降に紹介させていただけるよう調整したいと思います。

(2) その他

次回開催予定：9月下旬～10月上旬

4 閉会